

会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回 戸田市青少年問題協議会		
開催日時	令和7年3月21日（金） 15時00分 ～ 16時10分		
開催場所	戸田市役所 5階大会議室A		
委員長等氏名	山田 憲児		
出席者氏名 （委員）	会 長：山田 憲児 3号委員：奥墨 章 5号委員：梅田 晴美 6号委員：中村 英美 8号委員：中崎 敏子 10号委員：長谷川 彩夏 副 会 長：大山 宣治 5号委員：小松原 直子 6号委員：稲垣 茂 7号委員：奥墨 健司 9号委員：福島 賢二 10号委員：鈴木 美香		
欠席者氏名 （委員）	1号委員：浜田 美咲 4号委員：鈴木 健 4号委員：田野 正毅 2号委員：山並 俊彦 4号委員：高田 ひろみ		
事務局	こども健やか部：秋元部長、高橋次長 児童青少年課：田村課長、長谷川主幹、吉橋副主幹、元谷副主幹		
傍 聴 人	0名		
議 題	報 告 令和6年度青少年行政に関する報告 案 件 児童センタープリムローズの大規模改修に係るアンケート結果について その他		
会 議 結 果	別添のとおり		
会議の経過	別紙のとおり		
会 議 資 料	① 次第・名簿 ② 報告（令和6年度青少年行政に関する報告） ③ 案件（児童センタープリムローズの大規模改修に係るアンケート結果について） 参考資料1～3		
議事録確定	令和7年3月31日	委員長等氏名	山田 憲児

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事 務 局	■開会
会 長	■会長あいさつ
事 務 局	■議題 【報告】 令和6年度青少年行政関する報告について 資料に基づき説明
会 長	説明を受け、質問等はあるか。
委 員	こどもの国で起きた受傷事件について、当時の状況も含めてもう少し詳細を教えていただきたい。
事 務 局	事件の経緯、詳細について説明 今回のケースは、設置物である芝生の養生マットに引っかかって怪我をしてしまったため、市と指定管理者の管理責任が問われ、損害賠償をすることとなった。
委 員	青少年の居場所事業について、チラシを配布しても子どもが集まらないという説明があった。私もチラシを見る機会があったが、子どもが興味を引くような配色ではないため、子どもも自分には関係ないと思ってしまっているのではないか。もう少し子どもの目を引くようなチラシであれば少し変わってくるのではないか。
事 務 局	チラシについてはいつも同じような形になってしまいがちなので、来年度は内容を変えたり、見た目を変えたりするなど、検討したいと思う。
委 員	青少年の居場所事業に関連して、7ページにプレーパークについての記載があるが、例えば居場所事業のチラシの中にプレーパークの情報など入れると、子どもの目を惹きつけると思う。 居場所事業というのは、場所を確保するだけではなく、子ども達にとって

	安心できる場所が居場所になるという考えがある。子ども達が安心して遊べる場所は子ども達にとって良い場所になる。 プレーパークは、子どもの居場所として重要だということで、全国で見直されている。そういった意味でも、プレーパークと居場所事業を関連させながらチラシを作ると良いのではないかな。
事務局	青少年に関する行政については、様々な分野でリンクできると良いと思っている。現在プレーパークを委託している事業者とうまく連携できるか検討していきたい。
委員	居場所事業の案内について、紙媒体で行うのか、データで行うのか、どのような形で進めていくのか。
事務局	現状は、基本的にはチラシを紙で配布しており、学校によってはデータで配布している。今後はどちらが効果的なのか見極めながら進めていきたい。
委員	現状、学校の出欠席も含めてすべてメールで行っており、保護者が必ず見るのはメールである。保護者の立場で考えると、紙だと子どもから親の手に確実に渡らない場合がある。親の手に確実に渡ることを考えると、紙よりもデータの方が良い気がする。
委員	今は配布物のほとんどがデータで送られているが、それとは別に、チラシやポスターで子ども達の目を引く、興味を持ってもらう、という部分に力を入れることも必要だと思う。データで配布する、ということであれば学校側は対応してくれると思うが、それに加えてチラシの配布やポスターの掲示を実施するというのであれば、学校によって対応が異なるので検討が必要だと思う。保護者がチラシを見て、子どもに青少年の居場所の利用を促すのも良いが、親によっては関係なさそうな配布物は見ない人もいるのが現状である。
委員	私自身、プレーパーク実施団体に所属しており、その経験から考えると、保護者だけに届くのでは周知が足りないと思っている。子どもに直接情報を届けることを考えると、子どもの目を引くチラシ等を作るのが良いと思う。

事 務 局	保護者、子ども、双方にしっかりと情報が届くよう、方法を検討していきたい。
会 長	今回出た意見を参考に進めていただきたい。
事 務 局	【案件】児童センタープリムローズの大規模改修に係るアンケート結果について 参考資料 1、2 に基づき説明 アンケート、パブリックコメントの結果を見ると、居場所機能やサッカー、バスケットなどができる場所を求める声が多く出ている。できる限り解消したいと考えているが、施設の形状が特殊であることから、できる範囲での対応となることが予想される。 参考資料 3 に基づき説明 1 階のホールの観客席を外して軽体育室にしたいと考えていたが、観客席と床がコンクリートで一体となっており、取り外しが困難なことから実現は難しそうである。 令和 7 年度から設計が始まるため、その中で事務局の要望を入れられるよう調整していきたい。今回のアンケート結果等は、こちらの要望を伝えるための資料としたい。また、事務局として考える必要な施設、設備についても設計の中で要望していきたい。
会 長	説明を受け、質問等はあるか。
委 員	実際に使っているのは小学生や幼児とその保護者が多いように感じているが、それを踏まえて検討していくのか。個人的な意見としては利用者の意見が一番だと思うので、それをもとに改修について考えていくのが良いと思う。
事 務 局	幼児と保護者の利用が多いことは把握しており、そのためにもベビーカーでも利用しやすいように施設改善したり、授乳室等を設置したりしたいと考

	えている。 また、中高生については、夕方の時間帯に来館して、職員と話をしたり相談したりしていると聞いているため、利用者の住み分けはできていると感じている。ただ、場合によっては中高生と小学生が混じって活動することは難しいと思うので、そういった点も踏まえて、子ども達にとって居心地の良い場所を求めていきたいと思っている。
委 員 会	今回の改修の趣旨、目玉みたいなものは何か教えてほしい。
事 務 局	改修の意義としては青少年健全育成が大きな部分ですが、現在国の方でも子ども達の居場所づくりが大きな課題となっているため、その改善にも取り組んでいきたいと思っている。特に中高生の居場所が少ないため、中高生も生き生きと過ごせる場所を作りたいと考えている。
委 員 会	今回、子ども食堂にも使えるような施設の改修を考えているようだが、社会福祉協議会でも子ども食堂は取り組んでおり、21団体に協力してもらっている。幸い、食料は多く集まっているが、逆に集まりすぎて困った、ということもありストック場所の確保に苦労している。プリムローズにこういった食料をストックできるような機能があるとありがたい。
事 務 局	ご意見としてお聞きし、検討させていただきたい。
委 員 会	アンケートの集計結果を見ると、子どもから見た良いことだけではなく嫌なことも書いてあるので、とても良いと思った。設計に生かすだけではなく、施設の使い方を検討する際にも生かしてもらえたらと思う。 また、22ページの自由回答を見ると、職員との関わり方を迷っているような回答がいくつか見られた。子どもは大人が思っているより鋭い面を持っているので、色々な人と関わることで、子ども達それぞれにとって安心できる人がいてくれたらよいと思った。
事 務 局	プリムローズの職員については、これまでも日ごろから子ども達と良い関係性を築くことを意識してやってくれている。 来年度、令和8年度以降の業者選定を行うことになるが、その際にも子ども達と関わり方を考えていきたい。

	もとの関係性を大事にするという点は重要視していきたいと思っている。
委 員	修繕の内容について、設計確定前に審議会で検討する機会があるのか、それとも内容がほぼ決まった段階で報告として情報をもらうのか、お聞きしたい。
事 務 局	予定では9月から設計が始まることになっている。基本的には今提示している内容で進めていくことになる。調整を進めていく中で細かい修正は入るかもしれないが、今提示している内容から大きく変わるということはあまりないと考えている。
会 長	先日行われた市議会議員選挙の候補者の公約などを見ると、プリムローズについて触れている議員もいたようだ。市議会ではどのような意見が出ているのか。
事 務 局	12月議会の一般質問において、プリムローズの老朽化に伴い建て替えをした方が良いのではないか、という意見をいただいた。 ただ、建設から30年ほどしか経過しておらず施設も継続して使えることや、施設の長寿命化の観点から、建て替えは行わず改修をする、という答弁をしたところである。
委 員	建物の形を考えると、設計にもある程度の制約が出てくることが予想される。そこで注意しなくてはいけないのが、新たなニーズに応える形で改修を行った結果、今まで使っていた利用者の居場所がなくなったり、前よりもスペースが狭くなったりしてしまうことだ。それでは本末転倒になってしまうの。今まで使っていた利用者が今まで以上に便利に使えて、なおかつ新たなニーズ、今回で言うと中高生にとっての居場所的な機能を果たすことができればよいと思う。今使っている方が不便にならないように、特に乳幼児とその保護者については行き場所がないと思うので、その点は配慮が必要だと思う。
事 務 局	ご指摘の通り、今使っている人が利用しなくなってしまうのは改修する意味がないので、そういった方々にもさらに便利になったと思ってもらえるよ

	うにしていきたい。乳幼児が保護者と過ごしてきた場所もこれまで通り確保できるように努めていきたい。 また、設計については、進捗があれば委員の皆様に共有したい。
委 員	参考資料１の１９ページの「できたらよい」と思うものについて、「記載なし」の回答が多いようだが、回答方法は自由記述なのか、それとも選択方式なのか。
事 務 局	回答方法は自由記述となっている。スポーツがしたい、という思いを持っていても具体的なものがなければ「記載なし」となってしまう。
委 員	「記載なし」の回答がこれだけ多い中で、「できたらよいと思うスポーツ」としてサッカーの回答が一番多いという結果をそのまま受け取ってしまうと少しずれてしまう気がする。
委 員	今の意見に関連することで、スポーツに対する意見については、部活動の地域移行にも関わってくるが、問題は大きいと思っている。 小学生の場合は、サッカーしたいけど公園でできないから、児童センターでサッカーしたいな、という程度の希望だと思う。ただ、中高生の場合はサッカーがしたいとなったら、クラブチームに入ったり、部活に入ったりすることになると思う。そういった意味では、今話が出ている中学生の「できたらよいと思っているスポーツ」については、表現は悪いかもしれないが、ただのアンケートというふうに見た方がいいかなと思っている。 特に体育室は、本当にサッカーをやろうと思ったら、プリムローズでは現実問題難しい。それよりもスポーツ推進を進めるのであれば、文化スポーツ課などたくさんの部署が関わってきて、スポーツセンターではないもっとスポーツができる施設がもっと欲しいという話になるので、ちょっと大きな問題なのではないかと思う。 プリムローズやこどもの国の体育室というのは、公園では遊べないものができる程度の施設を私はイメージしている。
事 務 局	できる限り、対応したいと思っているが、敷地が狭かったり、天井が低かったりするため、できることに限りがあるのが現状である。

委 員	参考資料１の２０ページに開館時間の延長についての回答があるが、開館時間の延長は検討してもらえるものなのか。あいパルの共有スペースや自習スペースはいつも人がいっぱいなことを考えると、中高生は勉強をする場所を求めているのではないか。中学生は帰宅時間が１６時を過ぎることもあり、開館時間が１８時までだといられる時間が限られてしまう。保護者の立場としては、開館時間を延長してもらえるとありがたいと思っている。
事 務 局	アンケート結果でも開館時間として「午後７時まで」を希望している人が４０％近くいることを考えると、リニューアルオープンの際に何か反映できることがあれば反映していきたいと考えている。 大きな軽体育室のあるこどもの国と異なり、プリムローズには過ごしやすい場所というものが求められているようにも感じられる。そうした観点からも、開館時間の延長についてはアンケート結果を踏まえて検討していきたい。
委 員	小学生の帰宅時間について、おそらくならないと思うが、施設が開いているから遅くまでいても良いという風にはしてほしくない。こどもの国は保護者がついてれば〇時まで、という決まりになっていたと思う。 親の帰りが遅い家庭もあり、遅くまで児童館で過ごしてくれると助かるという思いも分かるが、児童センターは託児所ではないので、その点は安全面も考えて線引きが必要だと思う。
会 長	様々貴重な意見も出たので、事務局で検討してもらえればと思う。
事 務 局	【その他】 委員の任期について、今年度末で任期満了となる。４月になったら委員の推薦について各団体に依頼をさせていただく。 ■閉会